

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2023年6月9日

(宛先)  
滋賀県知事

提出者  
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)  
米原市下多良二丁目79番地

氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)  
株式会社 新明 代表取締役 鏑田 喜一

滋賀県CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項 → 第25条第4項  
第27条第1項 → 第27条第2項において準用する同条例  
第26条第1項  
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項の規定に基づき、  
[事業者行動計画を策定 (変更) 事業者行動報告書を作成] したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	株式会社 新明 代表取締役 鏑田 喜一
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	米原市下多良二丁目79番地

1 事業者の概要

事業所の名称	株式会社 新明					
事業所の所在地	米原市下多良二丁目79番地					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	0	6	2	1	※ 産業分類・細分類名称を記載 土木工事業(別掲を除く)
事業の概要	測量・コンサルタント業務、建設工事					
従業員の数	19	人	作業時間	7.5	時間/日	
該当する事業者の要件	<input type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input checked="" type="checkbox"/> 任意提出事業者					
主要な設備	ボイラ	台	熱源設備	台	照明設備	150 台
	コンプレッサ	台	空気調和設備	台	その他	

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	令和 2 年度	報告対象年度	令和 4 年度
	終了年度	令和 4 年度		

3 計画の(内容・実施状況)

計画の(内容・実施状況)	別添のとおり
--------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

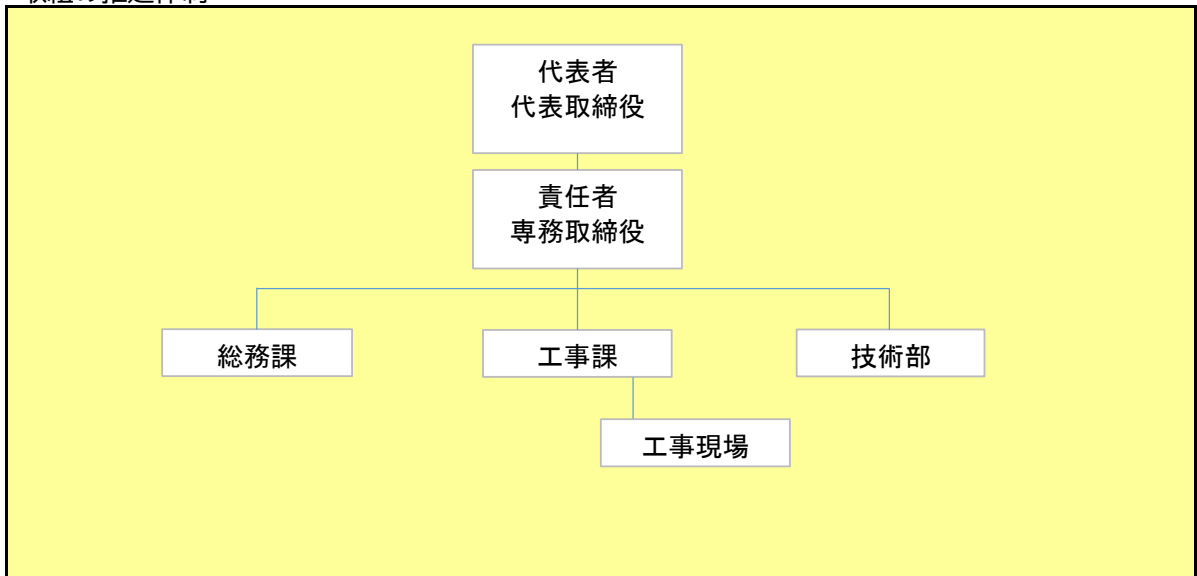
<環境理念>  
当社は、地域規模での環境保全が人類共通の再重要課題の一つであることを認識し、事業活動において、環境に配慮した循環型社会の構築に貢献します。

<行動指針>  
当社は、滋賀県の米原市地域を中心とした建設工事、測量設計・土木コンサルタント事業を行っています。

この事業活動における環境への影響を理解し、環境経営を優先課題と位置づけて、従業員と協力し、EA21環境経営システムを構築運用し、継続的改善と汚染の予防に努め、以下の事項について自主的、積極的に取り組みます。

- 1.環境関連法規を遵守します。
- 2.当社は、次の環境活動を計画的に取り組み実施します。
  - ★事務所・建設現場での電気使用量及び重機・運搬車両の燃料使用量を減らし、CO<sub>2</sub>の排出量を削減します。
  - ★建設現場の廃棄に関して、再資源化に取り組み、建設リサイクルを推進します。
  - ★事業で使用する用水の削減と排水の汚染、汚濁の防止に努めます。
  - ★使用する化学物質の適正使用と管理を徹底します。
  - ★環境に配慮した施工及び環境保全技術の導入を推進します。
  - ★グリーン購入の拡大を推進します。
  - ★環境活動の社会貢献を推進します。
- 3.この環境方針は全従業員に周知、徹底します。

2 取組の推進体制



3 これまでに取り組んできたCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに係る取組

- 1.室内温度は、夏期28℃、冬期20℃の推奨温度をキープする。
- 2.空調設定温度ではなく、実際の室内温度を計測して、管理する。
- 3.空調機の運転管理基準を定めて表示し、基準に則り運転する。

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	空調機を省エネタイプに更新する。	令和2年	令和2年12月実施済
2	運用改善	空調機の不使用時の元電源OFF。	令和2年 ～ 令和4年	取組済
3	運用改善	冷暖房機の温度設定を季節に応じて固定。	令和2年 ～ 令和4年	取組済
4	運用改善	冬期の暖房機を、ガスファンヒーターからエアコンに変更。	令和4年	取組済
5				

(2) エネルギー起源CO<sub>2</sub>以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1		該当なし		
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
エネルギー使用量25%削減します。	目標の25%に対して開始前10kLが、令和4年度には、7kLと30%削減できました。

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	( )年度	( )年度	
原油換算エネルギー使用量	kL	10	9	8	7		
温室効果ガス総排出量	t-CO <sub>2</sub>	17	13	15	15		
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	17	13	15	15		
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	0	0	0	0		
CH <sub>4</sub>	t-CO <sub>2</sub>						
N <sub>2</sub> O	t-CO <sub>2</sub>						
HFCs	t-CO <sub>2</sub>						
PFCs	t-CO <sub>2</sub>						
SF <sub>6</sub>	t-CO <sub>2</sub>						
NF <sub>3</sub>	t-CO <sub>2</sub>						
エネルギー等原単位の推移							

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。